

視察会報告

4/13 オリックス資源循環株式会社・株式会社埼玉ヤマゼン

彩の国資源循環工場は、埼玉県が、埋立処分場跡地を活用して計画したものです。他県のエコタウンのように、用地売却ではなく県の事業として計画、PFI事業として民間企業を公募、現在8社が操業しています。今回視察した(株)埼玉ヤマゼン、オリックス資源循環(株)もそのうちの1社です。彩の国資源循環工場では、雨水、生活水以外のすべての場外排水を禁止、大気への排出基準は国より厳しくなっています。また、県が管理事務所を設置、常時巡回監督を実施するとともに、寄居町が近隣住民から160名の監視員を任命、監視員が随時立入り・監視しています。



(株)埼玉ヤマゼンは、燃え殻、ばいじん等を焼成して無害化、再資源化するという施設。受入れの9割以上が燃え殻で、一般廃棄物が全体の7割程度を占めています。ロータリーキルンにより1,000度で焼成し、粉碎後造粒し人工砂(アークサンド)を製造、再生砕石の



粒度調整材料、特殊な造成材料として販売しています。1,000度で焼成して無害化するためには、事前の分析で受入れを無害化できる品質のものに限定することが重要で分析の結果、実際に受け入れできるのは半数程度のようなことです。こうして26円/kgの処分費を確保できているとのこと。 (溶融場合30円/kg以上か?) 昨年度は、95,000トン弱の処分実績で、フル稼働の状態とのことでした。



オリックス資源循環(株)は、JFE社のガス化改質施設によりすべての廃棄物の再資源化を図るという施設。2000度で溶融することにより、溶融したスラグやメタルを回収し、その他はガス化します。ガスからは金属水酸化物、工業塩、



アンモニア水等を回収し、生成されたガスを燃焼させ発電するという施設です。固形物としての排出量は全体の約2割です。約15%はスラグで路盤材等に利用されるほか、それぞれ各主原料として利用されているとのこと。年間処分実績12万トンはフル稼働の状態です。

基礎講習会報告

4/26

日本教育会館



4月26日(木)日本教育会館にて、組合員、賛助会員対象の基礎講習会が、理事長のリラックスムードを作る挨拶から始まりました。まずは、受講者について69名中新卒及び勤続1年未満が27名(約40%)という実績から各社将来を見据え若返りを図っているということが伺えました。また、従来営業中心の基礎講習会の参加者が管理部門約22名(約30%)というのは廃棄物処理法・委託契約書・マニフェスト処



理に関して事務方の重要性を考慮した結果と思われま。講習内容についてはボリュームがあり、各テーマ概念的なものから実例まで、レジメが非常に簡潔に解り易く纏められていて、そのまま社内教育の資料として使用したいと思いました。

- (1)環境問題と建設リサイクル 環境問題の遍歴と建設リサイクル法基礎知識
産廃業界は再資源化に重要な役割を果していることを実感した
- (2)建設廃棄物協同組合とは 歴史と役割及び現在の活動について非常に参考になった
- (3)廃棄物処理法の基礎 現行 173 条からなり我が国の廃棄物政策の返還が覗える
産業廃棄物(建設廃棄物)か一般廃棄物について判断が重要
- (4)処理委託契約の実務 委託契約書の記入例 注意事項
廃棄物管理票 (A 票～E 票)の流れ中間処理業でのC1 票の重要性

基礎講習会アンケート結果(複数回答可)				
	講習(1)	講習(2)	講習(3)	講習(4)
わかりやすかった	38人	23人	32人	28人
難しかった	9人	3人	1人	7人
わからなかった	0人	3人	13人	1人
参考になった	42人	44人	35人	41人
疑問が残った	2人	2人	4人	4人
もう一度聞きたい	2人	1人	10人	13人
その他	0人	1人	2人	2人



講師を務めた島田理事長・佐々木事務局長有難うございました。将来の環境ビジネスを踏まえ、人材育成の為、総務部会教育研修委員会の事業計画にある月次講習会で、今回の講習内容を初級・中級・上級編にわけ企画される事を望みます。



レポート 株式会社ユーワ 管理部次長 中村輝樹

※なお、基礎講習会での資料抜粋版、アンケート集計を組合員ページに載せております。

お知らせ

- ・通常総会が5月29日(火)に決まりました。
総会に先立ち、29日 15:00～佐藤泉弁護士の講習会を開催します(組合員に案内状送付済み)。総会に出席しない方も多数ご参加ください。
 - ・共同購買でアナログスタイルより販売しておりましたグレーシャーが販売終了になりました。
 - ・6月10日(日)建廃協レクリエーション、パークゴルフは、まだ定員に余裕がありますのでふるってご参加ください。お問い合わせは事務局まで。
- ※建廃協では、NEWSに載せてほしい事柄、また載りたい方も募集中です。どんなことでもかまいません。感想などもぜひこちら→ jimukyoku@kenpaikyo.or.jp まで。